



東京八王子プロバスクラブ
創立1995年10月18日

プロバスだより

第156号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2008年11月13日発行

編集・発行：情報委員会

2008～09年度テーマ

『学びそして発信しよう、より豊かな地域社会を求めて』

第156回 例会

- ・日時：平成20年10月9日（木）12:30～14:30
- ・場所：八王子エルシー 3階
- ・出席者：出席61名 出席率 89.7%
- ・ご来賓：ございません。

1. 多村例会委員長の司会で開会

2. 会食(12:30～13:00) 洋食

サラダ・ハッシュ・豚の生姜焼き・ご飯・デザート・コーヒー

3. 矢島会長挨拶

10月を迎えまして、街では胸に赤い羽根を付けた人が目につくようになりました。今月も大勢の会



員の皆様が例会にご出席いただきまして、大変ありがとうございます。赤い羽根と云えば、終戦後の間もない昭和22年に当時の荒廃した社会の中

で、民間の社会福祉事業を資金面から支える運動として始まった共同募金ですがこの間、全国の大勢のボランティアの方々に支えられ、昨年までに集まった募金額は、3,504億円にもなったようです。因みにこの数字は八王子市の今年的一般会計予算と比較しますと4.4倍、と云う多額の金額になります。

また昨年度の八王子市における募金額は800万円を超え、市内の社会福祉施設に交付された金額も3,500万円を超え、17の社会福祉施設の資金面をサポートしてきたと云うことです。今では歳末助け合い運動と並んで共同募金が全国の国民の善意で支えられているこの運動ですが赤い羽根を手を持って、あらためてその重みを深く感じた次第です。これからは私ども地域社会の奉仕団体として存在する以上、これらの問題に就きましても無関心にせず、機会があれば皆さんの善意を是非そういう面にあらわしていきたいと思ひます。

今月23日には特別学習会として、市から部長を招いて『ソフト面から見た八王子のまちづくり』につ

いて、話を聞くことになっております。お忙しい時期とは思いますが大勢の会員皆様の出席をお願いいたします。

4. 議事

(1) 幹事報告(矢崎幹事)

① 今月は、特別学習会がありますが、詳しくは橋本研修委員長より報告してもらいます。

② 会員全員の名札付きの受付キャビネットに入れる資料につきましては、事前に幹事の了解を得るようにしてください。内容によっては、正式な例会資料としてでなく、一般配布資料として、受付テーブルに置かせていただきます。

③ いちよう祭の応援依頼がきております。後ほど、澤渡委員長から説明があります。

④ 南ロータリークラブからの講演の案内です。10月25日、18時エルシーで 消防署の警防課長さんの『大地震その時あなたは』の講演が行われます。受付にパンフレットがありますので、参加希望者はご覧になってください。

(2) 各委員会報告

・例会委員会(多村委員長)

本日の出席は61名、実働数68名(3名休会中)ですので、出席率は89.7%です。

・情報委員会(長谷川委員長)

今月号は、同好会活動をいつもより紙面を割いて載せました。クラブの楽しい雰囲気伝わればと思っております。下山副会長の作品の微妙な濃淡表現が出せませんでした。写真の表現向上がこれからの検討課題の一つと思っております。

(岡田事務局長コメント：複数の写真が1頁に入っていると、『あちら立てればこちらが立たぬ』のことわざの通り、難しい面があります。これからは努力していきます。)

・会員委員会(下田委員長)

① 配布しました資料に、9月に入会しました、戸谷会員の会員名簿を入れてあります。名簿に貼付しておいてください。

② 例会後、新会員の資格審査をいたします。

研修委員会(橋本委員長)

① 特別学習会について説明。今期の運営方針でもありますが、『学びそして発信しよう、より豊かな地域社会を求めて』に沿った学習研修

の一つであります。サロンと同じ形式で、途中でコーヒープレイクを設けたいと思います。

講師は八王子市市民活動推進部部長の峰尾常雄さんで、八王子の現況、これからの都市づくりの中から、市の活性化、市民協働の推進、緑の整備・保全と活用、国際交流・観光、生涯学習プランなどを柱にお話をさせていただく予定です。質疑・意見交換の時間も設けますので、積極的に参加してください。

② 11月の野外例会について、参加者は51名です。バスは満席、一部補助席の利用有。

・地域奉仕委員会（澤渡委員長）

報告

① 生涯学習サロンの会員による講座16は全て確定しました。講師の方は10月20日までに、講座の内容を400字以内にまとめて提出願いたい。

② 開講式には骨太として、医療関係の話、閉講式は、楽しく聴いていただきたいと思ホテルの裏側から見た話などをしていただこうと思います。

③ 野外サロンは川崎付近を選びました。工場もありますし、川崎大師もあり、最近ではイタリア中世の城壁を模したショッピングモールなどがあるので、好奇心旺盛な皆さんに喜んでもらえるのではないかと考えております。

いちよう祭

地域活動の一環として、各委員会参加協力します。11月22日（土）、23日（日）の二日間、例年通り、受け付けが主な担当でございます。

（3）同好会報告

・歴史の会（荒代表）

今回のテーマは、第13回歴史を肴に語ろう会『紅葉の陣馬街道・縄文から現在に続く風土を楽しむ』であります。陣馬街道をマイクロバスで走りながら、途中下車して、庚申塔や石仏を見たり、松姫さんと縁のあるお寺を見たり、龍泉寺、両墓制（埋め墓と参り墓）の歴史の勉強をしていきたいと思います。先着25名です。選に外れた場合はご容赦願います。懇親会は、夕焼けの里で行います。会費7,000円、11月18日（火曜日）午前8時 八王子駅南口、たましん前です。

・ゴルフ愛好会（小林貞男代表）

12月12日（金曜日）GMG八王子ゴルフ場で開催されます。

・囲碁クラブ（矢崎幹事）

10月17日～18日 陣馬の湯で知られる、旅館『陣谷温泉』にて大会が行われます。

・IT塾（矢崎幹事）

11月末をもってしばらく休講しますのでよろしく願います。右上写真はIT塾教室



塾生：左から、濱野・浅川・池田各会員

写真提供
矢崎幹事

・写真同好会（下山副会長）

10月7日～8日 乗鞍高原紅葉撮影会が行われました。雨も上がり、乗鞍岳は雪で薄ら白くなってました。真っ盛りの紅葉は雨上がりのしっとり感がとても良く絶好の写真日和。また、2500m程の上からの北アルプスを眺めると、眼下に広がる雲海も素晴らしいものでした。さて、条件は揃いましたが、腕の方がどう

か、が問題です。今度作品を見ていただく機会を設けます。



山岳写真のベテラン、撮影中の矢島会長

（4）その他（立川会員）



写真提供 立川会員

8月28日、お茶の会の皆様による、ケムニッツ管弦楽団団員へのお茶の接待に対しまして、御礼申し上げます。私ごとですが、今



日、**喜寿**を迎えました。これからも元気で地域奉仕に捧げなければと思っております。どうぞこれからもよろしく願います。ありがとうございます。（拍手）

5. 卓話

裁判員制度について

話し手 外ノ池和彌氏（写真1）
（東京地裁八王子支部 検察官）

裁判員制度とは、20歳以上の有権者の中から無作為に選ばれた裁判員と呼ばれる、一般市民が刑事裁判に参加する制度と云えます。来年5月21日の起訴された事件から始まります。



写真1

日本の裁判員制度の特徴は、**裁判官と一緒に、被告人が有罪か無罪かだけでなく量刑**まで決めるのが特徴です。(米国・英国の陪審制は量刑

までかわらず、また、裁判官を含めず、陪審員のみで協議することも大きな違いです。)

何故、裁判員制度を設けたかと云いますと、国民が司法に関わってもらい、より良い社会を造っていこうと云うことであります。これまでの社会は、司法は、立法・行政と比べ国民との結びつきが大変少なかった。この制度で、国民が裁判員として、国民の感覚・国民の視線、国民の言葉で司法に参加していくこととなります。

裁判員が参加する事件とは

裁判員の参加する事件は、国民の関心の高い重大刑事事件(民事は入りません)が対象となります。全国で年間発生する刑事事件約10万件の中から約3000件(H18年度)が対象となります。強盗致傷・殺人・放火・致死罪等凶悪事件で、これだけで75%となります。

裁判員はどのように選ばれるか

今年12月ごろまでに、選挙権のある人の中から、翌年の**裁判員候補者**を選び、裁判所ごとに裁判員候補者名簿を作ります。

八王子支部関係(23区を除く市町村)では、概ね、50件程度が対象事件です。八王子支部管内には有権者が約330万人おりますので、1件当たり100名を選ぶとすると、5000人が裁判員候補者となります。当たる確率は、0.15%となります。**裁判員候補者からさらに裁判員**が選任されますので、**実際裁判員になる確率は更に少なくなります。**八王子市のみで算定すれば、約888人が来年度の**裁判員候補者**になる予定です。

裁判員に選ばれたら、

①公判に出席し、裁判官と共に座る。(写真2)

裁判員から証人に質問することも出来ます。

②評議、評決する。(非公開)

有罪・無罪か、有罪の場合はその量刑を裁判官と共に議論し、決定します。

③判決宣告

裁判長の判決宣告に立会いその職務を終了する

よくある質問

裁判は日数がかかると思いますが、長期間かわるのでしょうか。

これからは、**公判前整理手続**(裁判員が選ばれる前に事前に裁判官・検察官・弁護人により争点を明確にする新しい制度)を採り入れ



写真2 矢印が裁判員の座る位置 中央3人は裁判官 講演スライドより

るので、日数は3日~5日で終了するよう目指します。(裁判員の出席は一番のみです)

本日の話し手の検察官が直接担当した、強盗傷害事件について説明がありました。***1**このケースでは犯人が無罪を主張した事件であり、普通は1年近くかかる裁判であったが、公判前整理手続を4か月の間に6回開き、証拠を明確にしたので、公判は3日で終了(有罪判決)した様に、裁判員が参加する公判は数日で終わることを目指し、負担を少なくするようにしています。

法律知識はありません。

わかりやすい裁判が行われるようにするので、全く心配はありません。

裁判員を辞退できますか。

配付資料に詳しく書かれています。一般には辞退は難しそうですが、当会員の中で70歳以上の人、重い病気・けが、親族の介護などの理由があれば辞退出来るようです。

事件関係者に恨まれないか

この質問はととても多いのですが、**報復されることはまず無い**と思ってください。もし、犯人が恨みをぶつけるなら、裁判員ではなく、検察官に向くはずですが、今までそのような事例はありません。

裁判員の名前・住所などは公開されませんし、威迫行為の処罰もあるので、安心して参加してください。

例外的に、暴力団関係の裁判のように、裁判員の関与が非常に難しい場合には、裁判官だけで裁判を行うこともあります。

以上で裁判員制度の説明を終わりますが、どうか、皆さんの視点、感覚、言葉で裁判に参加してください。(終)

6. プロバスソング斉唱

7. 閉会挨拶(下山副会長)



①11月27日(木)に関東ブロックプロバスクラブ交流会が開催されます。八王子が幹事役ですので、参加希望者は申し出てください。

②同好会が活発でご同慶の至りです。益々、活発になることを期待して閉会の挨拶とします。

(例会記録

野末情報委員)

*1) 平成20年9月25日 読売新聞(多摩版)に掲載されています。

立川 富美代

○8月25日 3年ぶりに会うメンバー36名は、弾けるような笑顔で、成田のゲートから出てきました。お互いにしっかり抱き合っ、そしてバスに乗り一路八王子へ。その夜は歓迎パーティ。目玉は**4斗樽の鏡割り**（人数に合わせ、1斗の生酒を入れました。）村内会長とデージー団長と指揮者の角先生には、お祭り半纏を着せました。（写真下）乾杯！乾杯！！なんと1斗のお酒が一晩で無くなり、ビールはどれくらい飲んだか分かりません。酒屋から借りた**朱と黒塗りの素敵なお椀**も全部どこかに行ってしまう戻ってきません。やきとりは500本！すばらしい賑わい振りが分かりますよね。

○8月26日 今日には都内見物。江戸東京博物館、相撲博物館、東大キャンパス。東大の学食でトンカツを食べました。とんかつソースがたいそうお気に入り、ご飯にまでかけて食べていました。明日は遠出をするから、早く寝て欲しいのに、やっぱり1時まで飲み会！

○8月27日 お城を見せたいと思い松本城へ行くことにしました。このところ毎日雨降りなのに今日は、珍しく晴天。大変暑い日でしたが、皆元気いっぱい、お城の細い階段を上手に登って天守閣へ、そこで写真を撮りまくっていました。一日中汗を沢山かいたので、その夜は当然飲み会ですが、やっぱり夜中1時まで。ドイツの人は、キリンビールはまずいがサッポロは大好きと云います。歓迎会の時のお酒がおいしくて、今日の酒はおいしくないなどと、結構味が分かるようになって来ました。『我々でも、樽酒など日頃は飲めないよ！』と言っておきましたが・・・

○8月28日 午前中は、八王子市役所へ。市長が外遊で副市長が対応。議会議場見学をしてからエルシーへ、期待の日本料理。松花堂弁当で、全員お箸に挑戦をさせました。中々上手に使えました。昼食後は「お茶席」阿部会員、近藤会員やお茶の会の皆様にはお世話になりました。茶道の専門用語が多く、日本語の分かる通訳（ミシャ君）でも大変だったようです。いよいよ今夜から練習開始。八王子第1小学校で大雨の中10時まで特訓でした。例の如く、夜中になるのに、また飲み会。冷蔵庫の中は毎日カラッポになります。

○8月29日 午前中は自由時間。でもそこそこで練習しておりました。多摩動物園のラインバスに乗りに行き、松尾会員に案内して頂きました。彼らは夜中まで練習して、真夜中まで飲んで、誰も疲れたとか言いません。全くタフなこと。夜はまた練習。二回目なのにもう息はびったりとしています。角先生の素晴らしいタクトさばきで、オケも合唱もうまく行き、演奏会の成功を予感しました。帰ってまた飲み会。相当飲み物を仕入れておいたのに、追加注文、日本酒が好きですね。勿論ビールは水代りのようですが、大変大人の飲み方

で、日本人のワケイの飲み方のほうが恥ずかしい。

○8月30日 午前中はのんびり各自の練習で、いよいよ午後からステージリハーサル。市民会館で通し稽古です。ほとんど心配なく仕上がっています。私も司会進行の役目なのに、リハーサル無しの本番だそうです。なるようになれ・・・です。

○8月31日 いよいよ本番。殆ど満席状態で開演。今までにない素晴らしい演奏に、この公演に関わっている私まで感動しました。ステージと客席とが一体になった空気は本当にいいものでした。演奏会終了後は村内ファニチャーのホールで送別会。お祭りをテーマに浴衣を着たり、着せたり、炭坑節を教えて汗をかき、ハイヒールを脱いで熱演でした。また飲んで、飲んで、帰ってからまた飲んで、朝まで飲んでおりました。

○9月1日 一晩中飲んで、朝5時には成田に向かってバスが出ましたが、皆グッスリ。10時50分の飛行機でケムニッツに帰国。肩の荷がおりました。

10年間の間、5回の交流演奏会をしました。3回目の招聘でいよいよ終わりと決めて、観光にも、飲むことも、割合に自由にしてあげました。村内実行委員長の大きなご支援のおかげで、八王子の文化向上をめざしている私たちの夢が3回もかなったことはそれだけでも嬉しいことなのに、演奏会当日、会場に来ておられたサンケイ新聞の営業部次長のお声がかかりで、次回もケムニッツとの交流演奏会が実現することになりました。産経新聞社の後援を頂くことになり、2011年4月に出来る南口の新市民会館落成記念演奏会として日独交流演奏会を開催する予定です。また、2年余準備が始まりますが素晴らしい演奏会をめざしてがんばりたいと思います。どうぞプロバスの皆様も今まで同様ご支援頂きますようお願いいたします。（終）



⇒ 角先生・村内会長・デージー団長 立川会員（写真提供）

編集後記。 司法への参加として、検察審査会もありますが、審査員の9割は参加して良かったと言ってるそうです。***2** 裁判員制度も早く根付き、より良い社会になって欲しいと思います。卓話は分かりやすく、心配が払拭しました。会員の活動として、今月は、立川会員から投稿を頂きました。日独音楽団員の皆さんがお酒を良く飲むので編集していて酔ってきそうでした。来月は 広瀬会員の人権擁護委員活動について投稿を掲載する予定です。皆さんも沢山お寄せください。